



平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 モリタホールディングス

コード番号 6455 URL <http://www.morita119.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理サービス本部長

(氏名) 金岡 真一

TEL 06-6756-0105

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,562	14.3	38		59		109	
24年3月期第1四半期	8,367	6.4	71		23		107	

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 48百万円 (%) 24年3月期第1四半期 146百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.44	
24年3月期第1四半期	2.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	71,085	35,672	48.4
24年3月期	78,051	36,216	44.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 34,415百万円 24年3月期 34,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		5.00		11.00	16.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	8.0	600	9.6	700	12.6	400	52.4	8.97
通期	66,000	3.6	5,300	4.5	5,500	4.6	3,200	14.1	71.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	46,918,542 株	24年3月期	46,918,542 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	2,315,563 株	24年3月期	2,312,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	44,604,166 株	24年3月期1Q	44,615,280 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に、個人消費や生産活動に回復の兆しが見えつつあるものの、欧州債務問題に伴う世界経済の下振れ懸念や円高の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は9,562百万円(前年同四半期比1,194百万円増、14.3%増)となり、営業利益は38百万円(前年同四半期は71百万円の損失)、経常利益は59百万円(前年同四半期は23百万円の損失)となりました。また、四半期純損益は、投資有価証券評価損152百万円等を計上したことにより、109百万円の四半期純損失(前年同四半期は107百万円の損失)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①消防車輛

消防車輛事業は、受注が堅調に推移しております一方、高付加価値製品の出荷が第2四半期以降へ偏重する見通しでありますことから、売上高は1,764百万円(前年同四半期比22.2%減)となりました。

②防災

防災事業は、消火器の法令改正に伴う需要の大幅な増加により、売上高は4,275百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。

③産業機械

産業機械事業は、震災復興需要に伴う売上げもあった結果、売上高は938百万円(前年同四半期比101.8%増)となりました。

④環境車輛

環境車輛事業は、前年同四半期の東日本大震災によるサプライチェーンの混乱が解消されたことにより、売上高は1,930百万円(前年同四半期比51.9%増)となりました。

⑤自転車

自転車事業は、前年同四半期の東日本大震災発生直後からの特需が剥落したこともあり、売上高は654百万円(前年同四半期比17.5%減)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に偏る傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は71,085百万円(前連結会計年度末比6,965百万円の減少)となりました。

流動資産は、34,456百万円となり6,491百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少12,163百万円の方で、現金及び預金の増加2,008百万円、たな卸資産の増加2,766百万円によるものです。

固定資産は、36,629百万円となり473百万円減少しました。うち有形固定資産は、29,273百万円となり125百万円増加し、無形固定資産は、1,629百万円となり16百万円増加し、投資その他の資産は、5,725百万円となり615百万円減少しました。

流動負債は、20,656百万円となり6,606百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5,181百万円、未払法人税等の減少1,508百万円によるものです。

固定負債は、14,756百万円となり185百万円増加しました。

純資産は、35,672百万円となり544百万円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上109百万円、剰余金の配当490百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.8%から48.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,966百万円増加の10,633百万円となりました。なお、当四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,239百万円の収入(前年同四半期は1,997百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少額12,061百万円の方で、たな卸資産の増加額2,747百万円、仕入債務の減少額5,199百万円、法人税等の支払額2,069百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、156百万円の支出(前年同四半期は835百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出283百万円の方で、有形固定資産の売却による収入149百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、173百万円の支出(前年同四半期は10百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額437百万円の方で、長期借入れによる収入180百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成24年5月8日に公表しました業績予想と変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,727	10,735
受取手形及び売掛金	22,514	10,350
商品及び製品	1,726	1,803
仕掛品	3,334	5,697
原材料及び貯蔵品	2,603	2,929
その他	2,115	2,980
貸倒引当金	△73	△41
流動資産合計	40,948	34,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,589	6,520
機械装置及び運搬具(純額)	1,334	1,286
土地	20,593	20,462
建設仮勘定	367	726
その他(純額)	264	277
有形固定資産合計	29,148	29,273
無形固定資産	1,613	1,629
投資その他の資産		
その他	6,406	5,793
貸倒引当金	△65	△67
投資その他の資産合計	6,341	5,725
固定資産合計	37,103	36,629
資産合計	78,051	71,085

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,587	11,405
短期借入金	710	866
1年内返済予定の長期借入金	2,822	2,847
未払法人税等	1,764	256
賞与引当金	877	555
役員賞与引当金	111	28
製品保証引当金	237	234
災害損失引当金	3	3
その他	4,149	4,458
流動負債合計	27,263	20,656
固定負債		
長期借入金	8,175	8,378
退職給付引当金	1,796	1,803
役員退職慰労引当金	166	160
その他	4,432	4,413
固定負債合計	14,571	14,756
負債合計	41,834	35,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	3,742	3,742
利益剰余金	28,859	28,259
自己株式	△1,040	△1,042
株主資本合計	36,307	35,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	54
繰延ヘッジ損益	0	△29
土地再評価差額金	△1,066	△1,066
為替換算調整勘定	△351	△248
その他の包括利益累計額合計	△1,350	△1,290
少数株主持分	1,258	1,256
純資産合計	36,216	35,672
負債純資産合計	78,051	71,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,367	9,562
売上原価	5,923	6,907
売上総利益	2,444	2,654
販売費及び一般管理費	2,515	2,615
営業利益又は営業損失(△)	△71	38
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	36	30
受取賃貸料	24	22
貸倒引当金戻入額	24	32
その他	36	29
営業外収益合計	125	119
営業外費用		
支払利息	56	62
賃貸費用	7	7
持分法による投資損失	0	11
その他	12	17
営業外費用合計	77	99
経常利益又は経常損失(△)	△23	59
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	8
投資有価証券評価損	—	152
災害による損失	9	—
特別損失合計	10	161
税金等調整前四半期純損失(△)	△33	△102
法人税等	61	26
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△95	△129
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	△20
四半期純損失(△)	△107	△109

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△95	△129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△13
繰延ヘッジ損益	103	△30
為替換算調整勘定	△142	124
その他の包括利益合計	△50	80
四半期包括利益	△146	△48
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△170	△49
少数株主に係る四半期包括利益	24	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△33	△102
減価償却費	308	273
のれん償却額	25	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△32
受取利息及び受取配当金	△40	△33
支払利息	56	62
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	8
投資有価証券評価損益(△は益)	—	152
持分法による投資損益(△は益)	0	11
売上債権の増減額(△は増加)	10,552	12,061
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,673	△2,747
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,184	△5,199
その他	△168	△181
小計	3,819	4,297
利息及び配当金の受取額	39	37
利息の支払額	△15	△25
法人税等の支払額	△1,846	△2,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,997	2,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△494	△283
有形固定資産の売却による収入	1	149
無形固定資産の取得による支出	△19	△26
関係会社株式の売却による収入	—	52
貸付けによる支出	△305	△0
その他	△17	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△835	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	98
長期借入れによる収入	193	180
長期借入金の返済による支出	—	△6
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△197	△437
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△173
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,155	1,966
現金及び現金同等物の期首残高	6,373	8,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,529	10,633

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	自転車	
売上高						
外部顧客への売上高	2,266	3,573	464	1,270	792	8,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	94	91	0	45	—	231
計	2,360	3,665	465	1,315	792	8,599
セグメント利益又は損失(△)	△209	250	△74	△92	53	△71

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△71
セグメント間取引消去	1
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△71

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	消防車輛	防災	産業機械	環境車輛	自転車	
売上高						
外部顧客への売上高	1,764	4,275	938	1,930	654	9,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	88	1	13	0	144
計	1,804	4,363	940	1,944	654	9,706
セグメント利益又は損失(△)	△478	433	4	51	12	23

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△0
棚卸資産の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	38

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社に係る一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	1,544	△32.1
防災	2,150	+104.1
産業機械	938	+101.8
環境車両	1,936	+44.9
自転車	44	△31.1
合計	6,615	+27.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	16,389	+24.2	19,963	+21.7
防災	1,206	△22.6	887	△38.6
産業機械	857	△57.6	3,735	△3.3
環境車両	2,347	+25.7	2,047	+14.4
合計	20,800	+11.5	26,633	+13.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 防災事業の防災機器部門及び自転車事業は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

3 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車両	1,764	△22.2
防災	4,275	+19.6
産業機械	938	+101.8
環境車両	1,930	+51.9
自転車	654	△17.5
合計	9,562	+14.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。